



年 頭 所 感

東 京 都 知 事
石 原 慎 太 郎

明けましておめでとうございます。

今年が皆様にとって希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からお祈りいたします。

私は、今我々に求められているのは、東京を再生することにより国全体を動かし、機能不全に陥っている我が国を変革することだと考えます。

このため、私は平成11年の知事就任以来、日本の頭脳であり心臓であるこの東京から日本を変えるため、様々な政策の苗を植えて育ててきました。昨年10月に開始したディーゼル車規制では目に見える成果を得、広域行政の新しい連携の形を全国に先駆けて示すことができました。また、都立高校改革などの教育改革、新

しい債券市場の創設、東京ERや認証保育所などの医療・福祉改革などにそれは結実しました。

一方、実現に向け努力を重ねている政策もあります。羽田空港の再拡張や横田基地の共用化、幹線道路の整備、危機対策の強化、都財政の健全化など重要施策の早期実現に向け、引き続き努力を続けてまいります。

また、昨年の再選後は新たな課題にも取り組んでいます。現在の都民が最も関心を有している治安対策については、不良外国人問題対策、子供を犯罪に巻き込まないための方策、少年犯罪の再発防止、安全・安心まちづくりの強化など様々な対策を強力に進め、誰もが治安の回復を

実感できる安全な社会を取り戻したいと思えます。また新銀行については、平成17年度の開業を目指し、現在、設立準備を進めています。全く新しいタイプの銀行をつくり、東京の経済再生、都民生活向上、IT社会整備に貢献したいと思えます。

今、多くの都民や国民は、聞こえは良いが実態のない言葉だけが氾濫し、一向にこの国の基本的なあり方や改革の具体的な手立てが示されないことに、苛立ちともどかしさを感じています。私たちは、今一度自分の足で立ち、頭で考えることで、自らの運命を選び取っていく必要があります。日本の進路を決めるのは、日々生きた現実に直面し、その課題の解決を迫られている私たち地方であり、改革の志を持った都民、国民です。今こそ、自立した国の新しい形を造形すべきであると考えます。今年、百年後の江戸開府500年に向けて、皆様と共に新しい一歩を踏み出したいと思えます。

